

44, 202筆の署名で陳情書を提出！ 署名活動に参加・ご協力いただきありがとうございました。 陳情の取り扱いは「継続審議」となりました。

5万人署名を目標に取組んだ署名活動の結果、44, 202筆の署名が集まりました！

2010年6月3日「米子市公会堂の存続と早期改修を求める市民会議」（以下市民会議）発足。市民会議と「米子市公会堂の充実を求める会」（充実を求める会）で7月米子市議会に陳情するための署名活動を開始しました。

7月12日までに41,506筆が集り、7月議会に陳情書を添えて提出しました。さらに7月28日に追加提出を行い、最終的には44,202筆を添えた署名陳情となりました。署名活動へは多くの方の参加がありました。約1ヶ月間の短期間での取組の中でみなさんの力を合わせてのこの結果は、必ず将来へと続くものと思っています。

7月米子市議会では米子市公会堂に関して多くの質疑が行なわれました。米子市長の答弁によると、9月補正予算によって耐震調査の追加調査を行いその結果を元に2011年3月までに「存廃」の判断を出したい、とのことでした。が、

緊急事態発生!! 9月議会に公会堂の調査費用、補正予算に計上されず

状況は樂觀できません! 今一度力を結集しよう!! 署名活動を再開します!!

7月28日の追加提出以降、署名活動を休止していましたが継続審議中追加提出ができることが確認されました。署名活動を再開します。

追加提出以降に「米子市公会堂の充実を求める会」の事務局に届けられた署名は保管しています。署名活動をする中で米子市公会堂への感心と理解を広げていきましょう! 同封のチラシを活用して下さい。

★★★署名用紙、チラシのダウンロードは

署名の届け先は

〒683-0041 米子市茶町 104 米子文化センター 1F 米子市民劇場内
米子市公会堂の充実を求める会 宛

市民会議報告集会を開催します

7月議会へ提出した署名結果、現在の状況、今後の取り組みについて話し合います。

また、今後の市民会議の位置付けについても討議しますので、都合をつけてご参加下さい。

■ と き：9月28日(火) 夜7時～

■ と ころ：米子市公会堂 2階集会室

出欠のご連絡は

米子市公会堂の充実を求める会（電話 0859-33-8695 Fax0859-33-8703）

米子市民会議ホームページから info@nokosaiya.org にて連絡下さい。

こちらから

市民会議ホームページ開設!

インターネットご利用の方にごあんない

◆市民会議のホームページを開設しました。

<http://www.nokosaiya.org>

まずは開いて見てね!

◆会員（団体）のみなさんのホームページでリンクしてください。

市民会議会員募集中!!

●ホームページから市民会議の会員登録できます。みなさんの周りの方へ会員募集を呼びかけてください。

※9/5 現在で登録10名（鳥取、山梨、福岡、メキシコなど）です。

コメント・意見投稿募集中!!

●ブログに誰でも自由にコメント・意見投稿できます。

e-mail アドレスを登録して下さい!

●あなたのe-mailアドレスを連絡して下さい。

会からの情報、イベント案内を送ります。パソコンのアドレスであれば、チラシなどがそのまま添付して送れます。

今後の連絡も取りやすくなります。

info@nokosaiya.org fax0859-33-8703 まで

いろいろイベント計画中!

その①おそうじイベント（公会堂に感謝して公会堂のお掃除をしよう）

その②わたしのイチ押し公会堂フォト&スケッチ、塗り絵コンテスト（以前でも、現在でもOK!）

などなど計画中! みなさんも一緒に楽しく考えませんか? ★ヨッシャと思った方ご連絡を★

「米子市公会堂の設計者・村野藤吾再発見」講演会
講演者 石田潤一郎先生 建築史家 京都工芸繊維大学大学院教授
2010年7月19日 14時～ 米子市公会堂集会室にて 参加者100名

7月19日(月・祝)米子市公会堂の集会室に於いて第2回市民会議として「公会堂をもっと知ろう会」を開催しました。この日の参加者は約100名、会場は熱気に包まれました。建築史家で京都工芸繊維大学大学院教授の石田潤一郎先生の熱い講演の後、公会堂のホールに移動して米子高専の名誉教授 和田先生と、藤木先生に公会堂の外観、ホワイエ、ホールの説明をしてもらいながら見学会を行いました。約3時間におよぶ会となりましたが、参加者のみなさんの熱心さに元気をもらった会となりました。

建築家・村野藤吾の一般的イメージ

- ・教条的モダニズムへの批判者（モダニズム建築は装飾を排して合理的でシンプルな建築を目指す）
- ・華麗なテクニシャン（装飾的な村野建築では、特に華麗なデザインを巧みなテクニックで実現する）
- ・商業建築で真価（デパートやホテル、劇場など、商業建築で村野独特の装飾が 대중に対して価値を持つ）

一般的イメージと異なる村野藤吾の一面

(1)「歴史様式」と「新興建築」双方を批判する

- ・渡辺節事務所時代は歴史様式建築の社会的価値を痛感、しかし折衷主義建築にも不満
- ・大衆に支持される新興建築の希求（アメリカのモダンデザインなど）
- ・表現の多様性の許容（ストックホルム市庁舎やオランダのファンネレーによるたばこ工場）



(2)即物性とダイナミズムへの関心

- ・ロシア構成主義への関心（チェルニホフ「建築ファンタジー」の翻訳）ダイナミックなキャンティレバーは米子市公会堂のファサードにも影響？
- ・工業性の表現（打ち放しコンクリートやアルキャスト、ブロック、金属板）打ち放しコンクリートやガラスブロックな米子市ど公会堂にも使用

(3)権威性を持たない「公共」の表現

- ・市庁舎建築における「公衆室」的空間の設置（横浜市庁舎の広間など）
- ・様式性によらないモニュメント性の模索（大庄村役場のレリーフや宇部市民館の柱頭や天井飾り）
- ・「経済性」を離れた評価への期待（横浜市庁舎や尼崎市庁舎のファサードデザイン）

(4)米子市公会堂の村野藤吾の足跡を通して評価する

- ・村野作品は相反する要素を共存させることで、新鮮で緊張感のある表現を生む（被膜性と構築性、工芸性と抽象性、消費性と永続性など）
- ・前者の要素が主に村野らしいと評価。しかし、後者もまた村野藤吾にとって重要な要素。
- ・米子市公会堂こそは、そのすぐれて典型的な作品。



米子市公会堂の存続と早期改修を求める市民会議とは

■市民会議は、公会堂を愛し、存続を願う人の集まりです。

■存続に向けて耐震強度調査を受けていた米子市公会堂は、突如「耐震強度指標 $I_s=0.15$ で低すぎる。改修には多額の経費を要する」「9月、使用を停止。存廃を検討する」という理由で、待ったなしの存続の危機に直面しました。

■「米子市公会堂の充実を求める会」は、この問題を、危機に直面している利用団体中心で受け止めるのではなく、広く市民の中で共に考え、共に学んで実情を把握し、正確な知識を得ながら解決していきたいと考えました。米子市公会堂は、市民の浄財を募金して建設資金の一部に当てて建設されました。他のほとんどのホールと違うこの公会堂の成り立ちから考えても、公会堂は市民の財産であるという自覚を持って危機を乗り越え、多くの市民の場としてさらに発展させていくためにも、市民の力と知恵を寄せ合っていくことこそ大切と考えました。そこで米子市文化協議会と共に賛同者を募り、2010年6月3日に、「米子市公会堂の存続と早期改修を求める市民会議」を立ち上げました。

■市民会議は、賛同者の間で以下の3点を申し合わせました

- 1、学習会、講演会を開催し、専門家に学びながら、市民としてその実態を知って行くことに努めます。
- 2、学んだことを、幅広い市民で共有するように努め、可能なら、さらにグレードアップした魅力ある施設、空間として再生することを目指します。
- 3、7月議会に向けて陳情署名5万名を目指します。

■これに続く市民会議の活動において、7月議会には4万4,202筆の署名を提出しました。また、専門家を招いて学習会、講演会を開催では、様々な分からないこと・知りたいことのなかから、問題とされた耐震強度指数のことや高名な設計者である村野藤吾さんのことなど学びました。今後も、さまざまな活動・イベントを実施したいと考えています。

■地域の音楽愛好家・演劇愛好家など芸術ホール利用者は、公会堂の使用停止を受けて、混乱と不安に陥っています。まず、会場の確保に困ります。米子の中心に、芸術専用ホールは公会堂と文化ホールの二つしかありません。公会堂が無くなれば、700人を超える演奏会ができる芸術専用ホールは、米子には無くなってしまいます。室内オーケストラや、音量の大きい演奏会、経費の張る演奏会の催しは困難になり、中止あるいは悪条件の中で行なわれることとなります。いままで当たり前の良い環境の下に享受してきた文化芸術は、これからは県下でも最悪な条件のもとで行うことが余儀なくされてしまいます。

■米子市公会堂は、もっと市民が広く豊かに使える場としてさらにグレードアップしていくことも求められています。公会堂は、中心市街地にあって、まだまだ可能性を拡げていける広さと余裕を持ち合わせています。市民会議の中でそんな可能性も語っていくことも考えています。

■市民会議は、米子市民にとどまらず米子市公会堂に集いたい地域住民の場です。ぜひご賛同いただき、知りたいこと、学んで行きたいことなど意見を寄せて下さい。

「四季の味 菜の花」さん

9月25日(土)で閉店！

25年続いた「そばの花」さんから引き継いで13年、頑張ってこられましたが、9月25日でお店を閉められることになりました。

みなさん“菜の花”へ行きましょう。

◆営業時間は 午前10時～午後6時。25日は14時までです。



米子市公会堂の充実を求める会 会員継続のお願い

2010年度の会費を集めています。活動費として下記の額を会費として持ち寄ります。

団体 3,000円 個人 1,000円

米子市公会堂の充実を求める会 までお持ち下さい。